

保護者の皆様

令和5年9月吉日
白山市立明光小学校

令和5年度 前期学校評価結果について

処暑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和5年度前期学校評価(7月)の結果がまとまりましたのでご報告いたします。評価結果は、本校の目指す児童像「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」についてそれぞれ評価項目を設け、A・B・Cの3段階で評価しております。目指す児童像ごとに、分析と改善策をまとめました。今回の評価結果を受け、これまでの取組を見直し、よりよい学校教育を目指していきます。保護者の皆様には、アンケートを通じて、様々なご意見等をいただきました。今後の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

肯定的な評価の割合が

A 90%以上 B 90%未満～70%以上 C 70%未満

<学習 かしこい子>

	評価項目	回答者	評価	総合
学習規律	学習規律の徹底に努めている	教員	A	B
	チャイムスタート、あいさつ、姿勢等をしっかり守っている	児童	B	
	基本的な学習習慣が身についている	保護者	B	
学習内容の理解	ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業を行っている。	教員	A	B
	授業が分かりやすく、「できた」「分かった」と思うことがよくある	児童	B	
	子どもは、授業の内容をしっかりと理解している	保護者	B	
学力	深めの発問や適用問題等で授業の後半部分を充実させ、学力の定着を図る	教員	A	B
	これまで学習してきたことが、しっかり身に付いていると思う	児童	B	
	子どもには、その学年に必要な学力が身に付いていると思う	保護者	B	
家庭学習	家庭学習の充実に向け、工夫や努力を重ねている	教員	B	C
	家で、学年×10分間の勉強をしている	児童	C	
	子どもは、家庭で、学年×10分間の勉強をしている	保護者	C	

分析・考察

<学習規律>

- ・教員は学習規律の定着を常に意識しているということが評価に表れている。その結果、児童の89%が学習規律をしっかりと守ることができた。今後も、個別に声をかけたり、できている児童の姿を全体に広めたりして、学習規律が徹底するよう取り組んでいく。

<学習内容の理解>

- ・ねらいを明確にした授業を教員は心がけている。授業終了時のゴールの姿を明らかにすることによって、児童が、できたかどうかを自身で判断することができ、「できた」「分かった」という実感につながると考える。肯定的評価は、児童・保護者ともに89%である。今後も、児童の学習の様子を見取り、個々への支援を行いながら、一層ねらいを明確にした授業の実践を目指していく。

<学力>

- ・児童の学びを深める発問を授業の中に取り入れられなかったり、適用問題を行う時間が足りなかったりするなど、授業後半部分を充実させることが十分にできなかった。今後は、深めの発問を吟味したり、授業のタイムマネジメントを考えたりして、授業後半を充実させ、確かな学力の定着を図る。

<家庭学習>

- ・教員は家庭学習が定着・充実するよう毎日宿題を出している。家庭学習に対する意識の差があり、家庭学習が定着していないところも見られる。今後は、家庭学習の定着を図る「クロステン」の取組について、お便りやメール等でお知らせし、保護者の方にご理解いただき、学校と家庭が連携し家庭学習の定着を進める。

<生徒指導 やさしい子>

	評価項目	回答者	評価	総合
自己肯定感	自分のよさに気づき、自分自身を大切にしようする児童の育成	教員	A	B
	自分にはよいところがあると思う	児童	B	
	子どもは、自己肯定感が高い	保護者	C	
いじめ	子ども達は、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている	教員	A	B
		児童	B	
		保護者	A	
やさしさ思いやり	子ども達は、自分から進んであいさつしている	教員	B	B
	先生、友達、地域の人に自分から明るいあいさつをしている	児童	A	
	子どもは、家族や地域の方に対して、自分からあいさつしている	保護者	B	
	友達にやさしくし、困っている友達がいると声をかけ、助けようとしている	教員	A	A
		児童	A	
		保護者	A	
	子ども達は、学校で楽しく過ごしている	教員	A	B
		児童	B	
		保護者	A	

分析・考察

<p><自己肯定感></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭において、子供たちの結果だけを見ていることがあると思われる。結果としてできていない場合でも、「ここまで頑張れたことが成長だよ」など途中の過程を認め・褒めることで子供たちの意欲につなげていく。また、子供たちへの声かけのしかたなど、お便り等でお知らせし、家庭とともに取組を進める。 <p><いじめ></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校は、未然防止、早期発見・早期対応を心がけ、いじめによる被害を最小限に抑えようと努めている。しかし、いじめは、いつでもどこでも起こり得るものなので、今後も、全教職員で子供たちの様子を注意深く見守っていく。 <p><やさしさ思いやり></p> <ul style="list-style-type: none"> 子供たちのあいさつをする意識は高まってきた。しかし、地域の方（見守り隊）や来校するお客様等へのあいさつは十分とは言えない。今後は、「自分から先に」「相手に届く声で」を視点に、家庭と連携し取り組んでいく。 友達に対する優しさは、教員・児童・保護者ともにA評価であった。明光小の児童のよさであり、このよさをこれからもさらに伸ばしていきたい。 学校では、大多数の児童が友達と楽しく過ごしている。しかし、一部であれ、楽しく過ごせていない児童がいることも明らかになった。児童の様子を一層注意深く見守っていく。

<特別活動 たくましい子>

	評価項目	回答者	評価	総合
体系的な取組	自ら運動に取り組む児童が育っている	教員	A	B
	自分から進んで運動に取り組んでいる	児童	B	
自主的な行動	より良い生活を目指し、自ら進んで行動している	教員	A	B
		児童	B	

分析・考察

<体力向上>

- ・休み時間等を利用し、体育館や運動場で遊ぶ子供たちは限られているが、体育の時間には運動量を確保できている。今後も体育の時間に全員で取り組む運動を取り入れ、すべての子供たちの体力向上・健康の保持増進を図る。

<自主的な行動>

- ・自分の思いや考えを言葉で伝える力の育成を教育課程の柱に据え、教育活動を積み重ねてきた。普段の学習の中で培った力を生かして、より良い生活のために考えを出し合い、自ら進んで行動する児童の育成を目指している。2学期は、運動会等の学校行事の中で、より良い生活を目指し、進んで行動する姿が見られるよう働きかけていく。

<保護者自由記述欄の中から>

- 学校が楽しいみたいです。学校でしか学ぶことができない事、自分で考える力など、どんどん身に付け、さらに意欲を高め学校生活を楽しく送って欲しいです。
- 安心して学校に行けるようになっていきます。友達アンケートに書いたことに対して、担任の先生が即座に対応してくれたことや、ノートやテストに書き込みがちゃんとされていることによって、見てくれているという実感があるのか、勉強の取り組み方も良い方向に変わってきているように感じます。ありがとうございます。
- ・欠席時の連絡をオンラインでできるようになると良い。
→今後、保護者からメールで欠席連絡ができる保護者連絡ツールを導入予定です。
- ・子供たちの様子が分かる内容を明光小学校のホームページにも掲載してほしい。
→学校だよりやホームページにて学校の様子をお伝えします。なお、ホームページについて、個人情報保護に配慮し、個人が特定される文や写真は掲載することができないことをご理解ください。
- ・何人も休んだ時に、メール配信でお知らせしてほしい。
→・感染症にかかった児童は、出席停止の措置をとっています。
 - ・学級・学校内で感染が広がっている可能性があり、学級・学年閉鎖及び学校全体の臨時休業等の措置をとる場合には、お便り・メール等で保護者の方にお知らせします。
 - ・特定の感染症が本人や家族の生命に危険を及ぼすことがある場合は、事前に学校にご連絡ください。個別に対応させていただきます。